

地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) 第三期中期目標策定の考え方

1. 第二期中期目標に対する進捗と今後の課題

☆総括

第二期中期目標期間において、中期目標を達成している。

- 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上
各支援で着実な成果を残し、社会課題の解決に向けた総合的な企業支援にも積極的に取り組んだ。
- 業務運営、財務内容の改善
組織の適応力を高め、経営資源の活用や設備更新を通じてサービス向上に努め、安定した経営基盤を確立した。



☆今後の課題

社会課題の解決に資する研究開発や新たな成長産業の創出・育成支援に取り組み、研究開発等で得た知見を県民生活に還元するよう意識する必要がある。

- 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上
 - 社会課題の解決に資する研究開発の推進と新たな成長産業の創出・育成支援についての積極的な支援
- 業務運営、財務内容の改善
 - 業務のデジタル化や経営資源の有効活用による効率的な財政運営

2. KISTEC を取り巻く状況

☆基本的な役割

- ・産業技術その他の科学技術の研究・開発・技術支援・人材育成
- ・研究・開発成果の普及促進
- ・社会課題の解決、イノベーションの創出
- ・成長産業の創出・育成の推進

☆県内産業の動向

- ・テレワークの普及と柔軟な働き方の拡大
- ・デジタル化の加速
- ・脱炭素社会の実現に向けた取組
- ・AI 技術などの成長産業の支援 etc

キーワード

- ・デジタル化
- ・イノベーションの推進
- ・カーボンニュートラル
- ・物資不足や物価高騰
- ・多様な働き方
- ・科学技術イノベーション政策大綱
- ・AI 技術
- ・医療・バイオ、ロボット、宇宙
- ・研究で得た知見の社会実装による県民への還元
- ・継続的な学び直し（リスキリング）
- ・デジタルリテラシー
- ・次世代の人材育成

3. 第三期中期目標期間における KISTEC が目指すべき姿

脱炭素化や少子高齢化などの社会課題の解決に資する研究開発を推進し、新たな成長産業の創出・育成を支援することで、県内産業の振興と豊かな県民生活に貢献する。また、多様化するニーズに対応するため、利用者目線に立った課題解決能力を強化し、第三期中期目標は以下の点を目指した方針とする。

- 社会課題の解決を通じたイノベーションの推進
- 産業基盤の強化と新たな成長分野の育成
- 持続的な成長を目指した組織運営と利用者支援の充実